

いずみざき

No.39

平成31年2月1日発行

議会だより



輝く未来を子ども達へ



いずみちゃん

目次

表紙	泉崎村保育所
2～3ページ	12月議会定例会の中身は？
4～6ページ	3名の議員が村政を問う！
7～9ページ	議会インフォメーション・子ども議会開催
10ページ	編集後記

報告 会期 12月6日(木)～12月14日(金)



12月6日(木)～14日(金)までの9日間の日程で平成30年第4回泉崎村議会定例会を開催しました。

議案11件、諮問2件、発議1件でした。

議会最終日、議案2件の撤回申請書が提出され議会、三役の期末手当の引き上げを行う議案は撤回する事が承認されました。

一般質問では、3名の議員が村政を問いました。

一般会計・特別会計・企業会計 補正予算

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	9,188万5千円	40億2,424万3千円
介護保険特別会計	△305万1千円	6億1,180万円
農業集落排水処理事業特別会計	179万5千円	2億2,476万8千円
工業用地造成事業会計	資本的支出 44万円追加	資本的支出 45万8千円
住宅用地造成事業会計	収益的収入 130万2千円 収益的支出 130万2千円 資本的支出 2,103万4千円	収益的収入 1億1,550万4千円 収益的支出 6,662万4千円 資本的支出 2,109万8千円

議案第52号 平成30年度泉崎村一般会計補正予算(第4号)の主な内容

歳入	金額	内容
普通交付税	7,107万2千円	額確定による増額補正
除染対策事業費県交付金	699万1千円	増額補正
歳出		
店舗空調設備工事	400万円	旧もとやなぎストアの空調設備
駅東口開発事業基金積立金	5,000万円	30年度末で基金積立残高7億円の予定
保健福祉総合センター空調設備工事	1,175万4千円	空調設備14台の入れ替え
子ども子育て支援事業計画策定事業	194万4千円	第2期子育て支援計画実態調査を委託
陸上競技場原状回復事前調査委託料	305万円	陸上競技場の回復に向け事前調査

人事案件

【議案第57号】

- 泉崎村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
泉崎村大字関和久字八雲神社
山田 睦子氏

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

【諮問第1号】

泉崎村大字踏瀬字踏瀬 箭内 清和氏

【諮問第2号】

泉崎村大字関和久字上町 菊地 幸次氏

平成30年第4回12月定例会

(✓：議長は採決に加わりません 欠：欠席)

議案番号	議 案 件 名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		可・否	飛知和良子	廣瀬英一	星一	中野目正治	小林勝衛	田崎能信	岡部英夫	白石正雄	鈴木清美	鈴木盛利
議案第47号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	撤回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	✓
議案第48号	村長等の諸給与及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例	撤回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	✓
議案第49号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
議案第50号	公私連携型保育所泉崎保育所の運営等に係る協定の締結について	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
議案第51号	福島県市町村総合事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
議案第52号	平成30年度泉崎村一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
議案第53号	平成30年度泉崎村介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
議案第54号	平成30年度泉崎村農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
議案第55号	平成30年度泉崎村工業用地造成事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
議案第56号	平成30年度泉崎村住宅用地造成事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
議案第57号	泉崎村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓
発議第7号	後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げを行なわないよう求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	✓

議会1日目の全員協議会において、6月定例会に議員報酬の5%削減案を提出して期末手当を上げる

村長より議案第47、48号の撤回申請書の提出

のは意に反する、手当を上げる時期ではない等の多数の意見が議員より出され取り下げ要求があったこと、及び三役の手当についても同様に今あげる時期ではないと判断し、それらの事を理由に村長より撤回申請書が提出されました。審議の結果、撤回が承認されました。

【議案第49号】職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会勧告に準じ、行政職給料表を平均0.16%引き上げ、及び勤勉手当年額を0.05月分引き上げを行うもの

Q/増額分、総額はいくらか？ A/ 13万6,100円（給与分） 117万5,027円（勤勉手当分）

議案第50号

公私連携型保育所泉崎保育所の運営等に係る協定の締結について

泉崎村社会福祉協議会と公私連携保育所泉崎保育所の運営等に係る協定を締結することについて、議会の議決を求める

Q/社会福祉協議会の将来を見据えた組織の在り方について具体的に足を踏み出して改革を進めていくことが重要では？

A/議会の了解を得て、村から人件費を補填しながら運営しているのが現実であり、自立できれば一番理想ですがもう少し移行期間があって、あて職的なかたちでもやむを得ないかと思っている。今後の大きな課題である。

障害者雇用について

鈴木 障害者雇用率について規定に沿って運営されているのか。採用されている障害者はどのような位置で働いているのですか。

総務グループ長 障害者雇用については嘱託職員の1級障害者手帳所有者が2名で8.33%と大きく上回っています。

鈴木 正職員の人達は実際に嘱託職員の力を借りて安心した職場が得られているのです。正式採用又は色々な長期間の採用方法について検討してはどうか。

総務グループ長 正規職員の採用は村長とこれから協議をするところです。色々な考えを含めて協議していきたいと思います。



鈴木清美 議員

村長 採用試験に社会人枠をつくり厳格な基準の中で挑戦して頂いて雇用をした経過もあります。待遇改善も当然考えています。目標を持っていくような制度設計を考えていきたいと思っています。

鈴木 嘱託職員の現在の仕事の状況や今後について、確認をする話し合いをすべきと思うが、その様な機会はあるのか。

総務課長 年内に担当課長から嘱託職員の意向について話し合いをしていきたい。話し合いは十分可能、必要な事であると思います。

グループ制について

鈴木 組織改革について、印刷物など色々な面で前もって準備するものがあるので。私もグループの組織がいまだに把握できていない。どんな組織になるのか話しができる範囲で伺いたい。

村長 村民の方々も今もなかなか理解できないという事がありました。4課制を取っていますが、課長を呼

ぶのに色々戸惑ったりするのは事実です。課は増やさない方向で、グループ長の部分は主幹、係長での対応で思っております。骨子ができ次第皆様方に説明を申し上げたい。早めに結論を出したいと思っております。

中学生海外派遣について

鈴木 海外派遣事業の趣旨はどのような事を思っております。参加者は募集され、行ける人、行けない人に分れるが、行けない人の行けない理由には色々あると思うがその生徒に対してどんな考えで対応しているのか。

9月補正予算の中に810万円が組み込まれました。一人当たりに対して大きいのではという印象を持っています。行ける人、行けない人の不公平さが出るのではないかと考えております。

学校教育グループ長 事業の趣旨は中学生という感受性の豊かな世代で、異文化を体験し、世界を身近に感じ、日本の良さ日々の生活を再認識してもらうことを

目的としております。9月補正予算で当初参加見込17名から24名に変更し増額補正を行いました。当初予算額一人当たり30万の内、9月に計上してあります。3月補正で調整する予定をしております。今年10月に保護者を対象にアンケート調査を実施し、86名から回答を得た。その中に18件の方が様々な理由により参加は望まないとの意見がありました。意見については、今後の事業の参考として取り組んでいきたいと思っております。

教育長 校長会の意見、保護者対象のアンケート結果を参考にして定例教育委員会でも検討し、現在の通りこの事業は希望者での参加としていく事が妥当と思えます。金銭的な理由により難しい方については村で実施している制度、準要保護児童生徒就学支援制度等があります。何か軽減措置等がある新に設置できないか検討する方向でおります。

鈴木 前回参加した子どもたちの感想文、活動報告書を読みました。子ども達は何を一番感じたかと言うと

日本の治安の良さなど、自分達と大きく違う環境で暮らすセブ島の子も達を見て子ども達も色々感じ取れた事であり、この様な事が感じ取れる事業は大事な事業ではないかと思っております。9月補正予算に810万円計上されているが、どのような考えで計上されているのか。

学校教育グループ長 歳出を810万円計上してありますが108万円程見込額より大きく計上されています。今後、事業執行に際し調整を行い3月補正予算で計上させていただきます。

鈴木 私はこの事に対し良い印象を持っていないのですが、私の友達の子もがテモラに派遣された話をした時に中学生時代に海外を見たおかげだと思いが、現在海外のテレビのプロデューサーとなっている。だから海外派遣はいいんだよと実際に父兄の方と話をした時に言われました。将来ある子ども達のために教育委員会の中でしっかりと協議して頂きたい。

関和久木野内前の 歩道について

飛知和 現状では歩道としては中途半端な状況です。平成30年測量を行っていたが歩道の為の測量と思いません。その後の計画、今までの経過報告をお願い致します。

建設水道グループ長 平成30年12月14日まで測量設計完了予定。地権者への工事概要の説明及び境界の立会いも終了しており、歩道の整備については了承を得ている。用地については、県道敷地内で確保、用地買収は行わない事となっている。整備期間は複数年となる見込み。村としては早期完成に向け継続して要望していきたい。



飛知和 良子 議員

飛知和 前回の歩道についても、測量も5、6回実施し、歩道工事着工まで20年近くかかっている。県に強く働きかけ早目をお願いしたい。また、白河大橋付近から白河市久田野方面に向かつての歩道についても是非、要望をお願いしたい。

建設水道グループ長 白河市大橋付近から久田野までは、現在のところ、計画は無い。歩道の必要性を検討し福島県への要望につなげるべきかどうかを判断していきたい。

飛知和 計画は無いとのことですが、奥の方の子どもさんは2世帯、4人。小学校通学が目の前なので、安心安全の為、歩道整備を強く希望して頂きたい。もう一つ遺跡の件はどうなのか。

建設水道グループ長 文化財の関係は支障がないという返答でした。

飛知和 川の上に蓋をかけるのか。

建設水道グループ長 側溝に蓋をかけることではなく、これまでと同じような形で側溝の横を通るような形になる。

関和久四辻から蕪 内線の道路について

飛知和 以前にもお願いした経過がありますが、対処経過はどのようになっていくのか。

建設水道グループ長 関和久四辻から蕪内に向かう道路の拡幅については、道路に隣接する地権者の方々に対し、今後現状の改善について改めて相談させて頂きたい。福島県南建設事務所との2回目の連絡調整会議があり、要望として県道の交差点改良事業での対応をお願いしたが、県道自体の2車線化の計画があれば同時に拡幅することは可能であるが新規工事は難しいとのことでありました。一方で通学路に指定されていれば、通学路安全対策事業としては可能とのこと。

飛知和 平成29年12月の返答では道路側溝について、蓋がけを行う為の構造や強度について調査し、改善に向けた具体的検討を進めて行くとのことでしたが、その後、対策はどうなっているのか。

建設水道グループ長 側溝の形状が蓋がけにマッチしない。また、強度の観点から難しいと判断している。通学路としての安全対策事業も視野に入れ、地権者との交渉に力を注いで参りたい。

飛知和 私も見ることがあるので、蕪内の方から大型トラック、四辻から乗用車、交差出来ずに、トラックは溝井輪業の方へ迂回し、抜けれない状態で四苦八苦しております。近所、地元の方々が大変心配しております。

村長、一言お願い致します。

村長 交差点については、地元の区長、部落の方々からも強い要望が出ており村

としても大変心配している。定期的に県との協議を行っている。地権者に協力を頂いて初めて拡幅可能になる。県の方にも交差点改良として何とか介入して頂き、改良費については当然主体は村で考えたいと踏み込んでお願いしている。行政としても、まだまだ交渉が足りないと思っている。今後、地権者に対し定期的に交渉、お願いに足を運べと常に指示している。諦めずにかかりと交渉して参りたい。やはり長年の懸案でありますから、地元の方々にも何とか協力依頼を地権者の方と一緒にさせて頂きたい。行政としてさらに交渉を進めたい。交通事故の主体はやはり県道の影響もあるので、県の方に主体的にやって頂き、お願いする事になります。一緒に我々村としても動いていければと強く思っております。

飛知和 この2件については、よろしくお願い致します。

報道と村政問題

白石 泉崎村の村政問題が、政治情報誌「タクティクス」9月号と11月号で、また「財界ふくしま」では12月号で取り上げられた。私にも告発と取れる投書が複数寄せられた。刑事訴訟法の239条は国民の告発権を認め、第2項では公務員の告発義務を定めている。公益通報者保護法第10条は、公益通報された行政機関は必要な調査を行い、通報対象事実があると認めるときは、法令に基づく措置やその他適当な措置を取らなければならないとされている。指摘された「極端な地元業者優先」「公平な入札に疑問」について村長の見解を伺う。



白石正雄 議員

総務グループ長 平成29年度泉崎村の入札件数は39件、

事業費総額は4億8120万円、うち村内業者の落札件数は23件、事業費総額は2億6263万円。

村長 政治理念として業者との癒着やなれ合い、特に金銭問題は絶対あってはならないと意識して執行してきた。公平な競争入札によって決定したもの。偏っていることはない。最低入札価格で対応しており、不公平の根拠はない。

白石 村内建設業者を政策的に育成する事は大切。一部業者優先は改めるべき。村として村内業者の優先発注方針が作られていない。適正にやっていると云っても、結果を見て村民は判断する。今後疑惑を招かないためどうするのか。入札契約適正化法第3条第1項では、入札発注適正化のため、入札契約の過程、あるいは契約の内容の透明性を確保することとしている。入札状況調書を常任委員会に提出することを求める。

出店基本協定

白石 リオンドールとの基本協定や土地の貸借契約について議会に報告を求める。

総務グループ長 店舗出店基本協定は平成30年7月12日に締結、出店条件では建築確認が必要な増築については村が負担し、外壁の塗装や内部のリフォームは会社が負担する。店舗が所在する土地の賃借は村が負担する事になっている。建物の賃貸借は1ヶ月1万5000円、土地代は月5万円。

立木伐採開発許可

白石 「財界ふくしま」12月号で報道された、森林再生事業実施地域内の立木伐採や、パークゴルフ場が無許可で開発されたのではないかと問題。村長の経営する会社が兼業禁止に抵触するのではないかと問題にどう答えるのか。

産業グループ長 再生森林内の立木の伐採は、本年9

月13日県農林事務所から村長自ら出向き、クロスカンントリーコース整備について相談した。原則は伐採を含め用途変更はできないと指導された。9月19日に視察したいとの連絡があった。数本の伐採は可能だろうとの村長判断により、9月15日伐採し林外に運び出した。地権者には了解を得た。パークゴルフ場については、今回の報道を受けて、整備面積、手続内容について精査中。

村長 原則論はあるができないということではない。

クロスカンントリーコース実現に努力してきたが、森林法の伐採届が事前に義務付けられていた。本数ではないことはわかっていた。大いに反省したい。パークゴルフ場については、全体面積13ヘクタールの半分ぐらいを村が所有していたので、小規模手続きで始めたと思う。違法性があるとすればこれから協議していきたい。測専社については会社が残っている。しかし休業届けを出して、仕事はやっていない。会社の役員構成は5年

毎だったので、それはこれから法務局と相談して行きたい。

白石 平成29年度に福島森林再生事業を実施したところを開発するのであれば、必要な県に対する手続きを取ればよかった。「財界ふくしま」の中でも村長自ら私に甘さがあったと事実を認めている。パークゴルフ場については、地方公共団体が開発する場合に、森林法に基づく林地開発許可は必要ない。しかし、県知事に対しては連絡調整申し出書が必要だとされている。県との関係、測専社問題も含めてしっかり対応すべきだ。

白石 連続して政治情報誌や月刊誌で泉崎の政治問題が取り上げられた。動機は内部告発や住民の公益通報によるもの。村長の政治姿勢に原因がある。これまでの議会で役場正職員の削減と非正規職員の増加や行政機関執行体制グループ制の問題を取り上げてきた。根っこはつながっている、村長の政治姿勢は重要だ。



常任委員会報告
総務厚生常任委員会

平成30年12月6日、総務厚生常任委員会に付託されました請願書1件について審議いたしました。高齢者の生活において年金収入が生活保護基準を下回る世帯が3割に迫る状況にある中、医療費の負担が2割へ引き上がると高齢者の健康維持に著しい影響が懸念される事から採択と決しました。

議会に届いた請願書

請願書	件名	審議結果	提出者
請願書第5号	後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願	採択	県南高齢期運動連絡会 会長 渡邊慧子氏 白石正雄議員 紹介



録画映像はこちらから
スマートフォンでも視聴可能！

アクセス件数

- ・議会会議録
延べ件数 5,213件 (月平均 59.9件)
- ・議会映像中継
延べ件数 4,954件 (月平均 57.6件)

議会会議録、議会の映像を確認できます！ ~村HP「村議会」から確認ください~



『今回表紙の泉崎村保育所の子ども達』



開催!

平成30年11月13日(火)
今年度は、第一小学校、第二小学校の2校合同で開催しました。

各小学校5名の議員が選ばれ学校ごとに議長、副議長が選出され、質問は8名の議員により行われました。



はんざわ おうが
1 小 半澤旺雅 議長



うえはら な お
2 小 上原菜緒 議長

『泉崎村の歴史をめぐるツアーはどうか?』

他の市町村も参考にしながら企画をたててみたい。



ほし あいな
1 番 星 愛菜 議員

④ 歴史的建造物の多い泉崎で歴史ツアーを行えば、泉崎村の良さを知ってもらえるのではないかと。「泉崎ふる里探訪」という散歩コースがあるのでこれを活かしてみたい。

⑤ ツアーマップをもとに回ってもらう。あるいは、さつき温泉を起点にスタートするなど色々考えた。しっかりと計画を立てていきたい。

『村の音楽祭の復活を!』

近隣市町村を確認、再度教育委員会に諮って考えたい。

④ 泉崎村はスポーツに力を入れていると感じるが、音楽の発表会や施設が少ない。村の皆が集まる音楽祭を復活させてほしい。

⑤ 音楽を含めた文化面にももっと力をいれないといけないだろうという思いは同感。今までの企画・内容で良かったのか、他町村も見ながらも一度可能性を探りたい。



なかのめ ゆずは
2 番 中野目柚芭 議員

『メタボを減らす為にスポーツ施設の充実を』

補助金を活用して実現できるよう努力したい。



3 番
たかはしま う
高橋真生 議員



4 番
くさの しおん
草野志温 副議員

④ 福島県はメタボでワースト2という状況。さつき公園周辺に、スポーツジム、屋内プール、屋内運動場をつくってもらいたい。健康寿命の長い村になってもらいたい。

⑤ まずは健康第一。トレーニングセンターの有効活用をメインで考えている。どういった器具を揃え人が集まる施設となるのか考えてみたい。基本は器具に頼らず歩いたり走ったりが原点。家族で運動する機会を増やしてほしい。

平成30年度 子ども議会

③ 自然を生かしたアスレチックのある公園、県内一長い滑り台のある公園、中高年の方も運動できる健康遊具のある公園があれば世代間の交流もできるのではないかと。そういった公園の計画はあるか。

④ 泉崎村で楽しめる一つとして、とても理想的なアイデアであると思う。頭において、その理想に向かってやっていきたい。

『村のシンボルとなるような公園を』

現在ある施設の充実、又は新たな公園整備を検討したい。



さとう めい
6番 佐藤芽依 議員



みどりかわ ゆま
7番 緑川優真 議員

⑤ 登下校時、不審者による声掛けや、思いがけない災害等により毎日不安を感じる。アメリカでは防犯のためにスクールバスでの送迎をしている。泉崎村もスクールバスの送迎は可能でしょうか。

⑥ 学校側と十分協議し、危険に晒されないよう、孫見守り隊、スクラム隊そういった方々が目を光らせている。皆さんを守っていく事をまずはやっていく。将来的には学校の統廃合があればスクールバスでの通学もあるかもしれない。

『スクールバスの送迎について』

まずは学校、スクラム隊、孫見守り隊で守っていききたい。

⑦ 世界ではプラスチックごみによる海洋汚染が問題となっている。プラスチックのストローを使わない企業も出てきました。泉崎村としては、プラスチックごみの減量化という点で、どう対策を考えているか。

⑧ 世界で起きている出来事に関心を持っていることに感動しました。ごみの分別は一人ひとりが意識をして行うことが大切。これからもしっかりと分別に取り組んでもらいたいと思います。



9番
にした ひろと
新田央翔 副議員



8番
みどりかわ しょうき
緑川翔輝 議員

『ゴミの分別収集について』

ごみを完全に収集して投棄を無くせば減っていくはず。

* 次期定例会の予定 *

開会3月5日(火) / 一般質問3月12日(火)の予定



4区



3区

今年も、ふくしま駅伝で力強く走る選手の応援に議員一同、応援に駆けつけました。昨年続き、村の部の優勝！おめでとうございます。



15区



11区



7区

ふくしま駅伝選手応援！
平成30年11月18日(日)



第二小学校 6年生の皆さん



第一小学校 6年生の皆さん

第2回 子ども議会

編集後記

いつも議会だよりをご拝読頂きありがとうございます。

平成最後の福島駅伝大会、見事に村の部11回の優勝を達成、この原動力になった、中高生の頑張りが特筆されます。

次回大会の健闘を望んでおります。

11月13日第二回子ども議会は第一・第二小学校6年生により開催されました。

この子ども達の夢と希望を叶える為、私たち議会議員が環境づくりする事と再認識させられました。

今後も皆様のご意見・ご提案をお寄せください。

インフルエンザが流行しておりますのでご注意ください。

編集・発行責任者
議長 鈴木 盛利

編集委員会
委員長 小林 勝衛
副委員長 鈴木 清美
委員 飛知 和良子
委員 星 英夫

岡部 英夫